

## 我ら 50 期 ここにあり

### 学業観

勉強を入試の手段としてのみとらえるのではなく、豊かな人生を送るために、学ぶことが生涯にわたって必要であることを理解して望ましい学業観を育ててほしい。最近、高校中退者が多い問題や、大学生の基礎学力不足が話題になっている。企業では、終身雇用制度が崩れる中で、自己の能力を生かせる職業に転職する人が珍しくなくなり、給与体系も年齢給から能力給になるなどの変化も見られる。高齢化社会の到来は、社会の第一線から退いた人の多くが、生きがいのある老後の姿を模索している。このような変化の激しい社会に対応できるよう、しっかりと目的意識を持って進学することの大切さや、社会に出てからも常に自己の能力を高め、生きがいを見い出すためにも、生涯にわたって学び続けることがますます大切になってきていることに気付いてほしい。

### 夏休みでつかんだことは何か？～未来思考でいこう！～

長いようで短い夏休みも、今年はさらに短く感じたのではないか？夏休みはどこかへ行った？何かをした？どんなふうに過ごしたの？宿題を早く終わらせた？部活や習い事に打ち込んだ？頭の中や心の中を整理することができましたか？夏休みでつかんだものは何か？

今日は8月3日（月）です。普段なら夏休みに入って一週間が終わった頃ですね。今年は例年とは違います。夏休みまであと一週間。夏休みに入っている気持ちで宿題や課題、1・2年生の復習に励んでください。物事は考え方次第！学校の友達と今まで授業を無料で受けられて、しかも美味しい給食を無料で提供してもらえるなんていう贅沢を楽しもうではありませんか！



### 幸せになるために考えて欲しい大切なこと

このところ「仕事」についてのニュースが増えました。「過労死」が大きな問題になって以降、「働き方改革」とか、「ワークライフバランス」とか、「働く」ことについて、これまで以上に多くの人が考えるようになったからでしょう。将来の自分の「働き方」について、中学三年生のみなさんが、どんな仕事に就きたいか、希望や不安を抱えながら過ごしていることは、大人は通って来た道ですからみんな知っています。そんな昔の自分に対して、「不安にならなくても大丈夫。まずは世の中がどんな仕組みになっているか知っておこう。それからじっくりと考えたり、色々な体験をしてみたりすれば、きっと自分がやりたいことが見つかるよ」という気持ちで語りかけてくれるのが『進路懇談』です。中学を卒業して5年後、10年後を見通して、保護者や先生と話してみるというはどうでしょう。まずは、今の自分と向き合い、将来どんな自分になりたいかをじっくり考える機会にしてみてはどうでしょうか。遠くの将来は、今のあなたの考え方と習慣とつながっています。



### 私たちちは誰かの仕事に助けられて生きている

人間は助け合って生きています。こんなことを言うと「困っている人に手を差し伸べましょう」という道徳的なお話かなと思う人もいるかもしれません、そういうことではありません。私たちが生活をするとき、そこには必ず人とのつながり合い、助け合いがあるということです。例えば、自分が住んでいる家について。家を自分の力で建てたという人は少ないでしょう。「自分の力で建てた」というのは、自分で材料を手に入れ、自分でそれらを組み立てて工事をし、家を造ったということです。また、普段の食事についても考えてみましょう。家で料理する人はいるかもしれませんのが食材をすべて自分で育てて収穫しているという人は少ないでしょう。なぜ家を建てることが出来ない私たちが家に住むことが出来るのでしょうか？なぜ食材を作っていない私たちが食べ物を食べられるのでしょうか？それは、家を建てる仕事をしている誰か、食材を作る仕事をしている誰かがいてくれるからです。自分ではできないこと、労力や時間を割けないことを、“他の人がする仕事”に助けてもらうという『仕事による助け合い』の中で私たちは生きているのです。

